



志気高き浜中生の育成

生徒数: 352名
学級数: 15(うち特別支援学級数3)
教職員数: 34名(うち教員: 31名)

【小浜市学校教育方針】

- 郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす。
- 1 ふるさとを愛し、誇りに思う心を育む
 - 2 よりよい人生を生き、よりよい社会を創っていく資質・能力を育む
 - 3 健康・安全で活力ある生活習慣を育む
 - 4 食への理解を深め、望ましい食習慣を育む
 - 5 全ての児童生徒と教職員が、生き生きと学び働くことのできる学校づくりを進める

【めざす教師の姿】

『生徒の視点』に立ち、生徒の学びに寄り添い、支援する教師
「生徒のために」から「生徒の立場で」へ互いに学び合い、学び続ける教師

【めざす生徒の姿】

自律・自立した生徒 ・ 仲間と共に顔晴れる生徒
浜中の新たな歴史を創造する生徒

【めざす学校の姿】

生徒、保護者、教職員のWELL-BEINGを高める学校
保護者・地域の信託に応える開かれた学校

育てたい資質・能力

【浜中エージェンシー^{*}】 主体性・協働性・創造性

豊かな人間性と 健やかな身体の育成

◆個性を伸ばし集団や社会で自己実現できる人間性の醸成

- ①生徒会方針「誰一人として傷つけない浜中」を支援する体制
- ②縦(色別)と横(学年)のつながりを重視した生徒を主語にした活動の充実
- ③人権尊重の実践的態度を育成する道徳教育の組織的実践
- ④「浜中ABC」実践

◆自他の心身の健康づくりと

安全・安心な教育環境づくり

- ⑤食と健康への意識向上、望ましい生活習慣の支援、指導
(「睡眠」に焦点をあてて)

重点課題と取組の具体

「深い学び」の創造

◆「学びのプロセス＝習得・活用・探究」の充実

- ①生きて働く基礎・基本の「習得」の在り方検討
- ②指導と「SAT(Self-Adjustment-Test)」等の一体化をめざした、各教科の授業計画と見直し
- ③家庭学習とつながる、「はまなびノート」(学習計画ノート)・個別最適な学びとなる「放課後スタディクラブ」の支援
- ④学力調査、テスト、SAT等の分析と授業改善への活用
- ⑤教師間の互見授業と授業検討会等の充実

最重要課題

研究主題

生徒が自己調整し粘り強く取組む力を伸ばす教師の支援のあり方
～教師も主体性・協働性・創造性を発揮して～

信頼される学校づくり

◆地域の教育資源(ヒト・コト・モノ)活用の推進

- ①地域に根ざした「総合的な学習の時間」の展開と学びの状況の発信

◆小浜中学校区小学校との連携

- ②学びへの向かい方、生活見直し週間の取組等を小中で共有

◆家庭・地域、関係機関との連携

- ③学校公開、各種広報活動で学校情報の公開度アップ
- ④家庭地域学校協議会、保護者・PTAとの連携、充実
- ⑤関係機関(警察、ふれあいスクールなど)との連携による「チーム学校」の強化

評価指標と目標値

- ・生徒主体の活動に積極的に取り組んだとこたえる生徒80%【満】
- ・人権を大切に言動、行動がとれているとこたえる生徒80%【満】
- ・「浜中ABC」を実践する生徒80%【取】
- ・睡眠時間を意識して改善に努めたとこたえる生徒80%【満】

- ・授業がわかるとこたえる生徒85%【成】
- ・指導と評価の計画表作成と生徒との共有1回/学期【取】
- ・自己調整力を高める支援に取り組んだ教員100%【取】

- ・各教員がテーマを持った実践を語るカンファレンス開催【取】
- ・教員一人1回以上/年の授業検討会の開催【取】

- ・地域総合学習の発表、交流会の開催【取】
- ・小中合同生活見直し週間3回/年開催【取】
- ・学校公開週間3回/年、協議会3回/年開催
ブログ発信100回/年以上【取】
- ・保護者の学校信頼度80%【満】
- ・関係機関との情報交換(随時)【取】

業務改善のための取組

- ◆「個業の確保」をめざした教職員いきいきプロジェクト ◆「協働の充実」をめざした部会時間の確保と効率化 ◆年次休暇11日以上取得

^{*}エージェンシー...適切な和訳はなく、「よりよい未来の創造に向けた変革を起こす力①新たな価値を創造する力②対立やジレンマに折り合いをつける力③責任ある行動を取る力(OECD)」「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲(文部科学省)」という概念をさす